

広報誌

LOOK

ルック

2025.8

第23号

いつも当院をご利用いただきありがとうございます。
広報誌ルックでは、当院の取り組みや患者さんに役立つ情報をわかりやすくお伝えしてまいります。
ぜひご活用ください。

目次／■新任医師・看護部長紹介 ■骨粗しょう症

2025年度 着任医師・新看護部長ご挨拶

皆様

この度4月1日より病院長代理として着任いたしました、内科医の星賀（ほしが）と申します。私は特に循環器内科を専門とし、これまでの経験を活かし、地域の皆様のため全力を尽くしたいと願っております。

当院の大きな特徴は、急な病気や怪我で入院した時（急性期）から、容態が安定してリハビリをしながらご自宅へ戻る準備をする時期（回復期以降）まで、患者さんの状況に合わせ切れ目のない医療を提供する「ケアミックス病院」であることです。高齢化が進む中、複数

の病気をお持ちの方が増えています。そうした方が安心して治療を受け、住み慣れたご自宅へスムーズに戻るよう、一人ひとりに最適なサポートを行います。

近隣にある大学病院本院とも一層の連携を深め、また地域の医療機関や介護施設との連携も密にし、皆様にとって本当に必要な医療とは何かを常に問い、新しい時代のニーズに応えられる病院を目指してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



病院長代理
星賀正明



看護部長
愛場 佐緒理

厳しい猛暑が続いておりますが、皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。この度4月1日に看護部長を拝命いたしました。

我が国は超高齢社会・人口減少社会にあり、医療ニーズの変化に対応した持続可能な医療体制の構築が求められています。当病院は、急性期と回復期の機能を併せ持つケアミックス病院として、住み慣れた地域でその人らしい生活を送っていただけるよう、地域の医療・看護・介護の皆さまと連携し、切れ目のない支援体制を築いております。看護師は、患者さんやご家族に最も近い存在

として、大きな役割と責任を担っていると考えています。

看護部の基本方針は、「患者さん一人ひとりの尊厳を大切にしたい、思いやりのある看護の提供」です。私たちは、患者さんの意思を第一に考え、尊重した退院支援を大切にしています。患者さんご家族と共に歩み、安心してその人らしい生活へ移行できるよう、心のこもった看護の提供に尽力してまいります。今後とも、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

～骨粗しょう症～

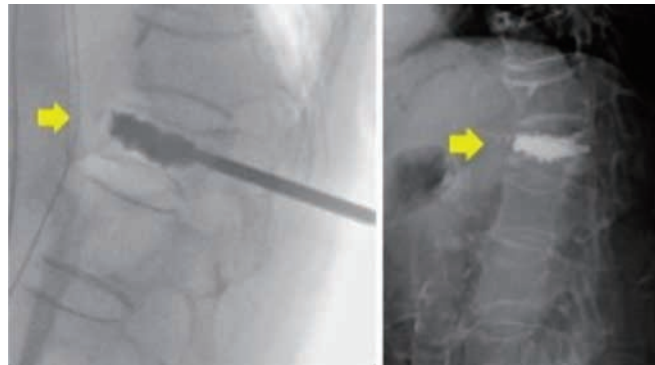
骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折(手術療法編)

副院長 整形外科部長 中野敦之

前回、脊椎圧迫骨折に対するコルセットなどによる保存療法について解説しました。
今回は脊椎圧迫骨折の手術療法について解説します。

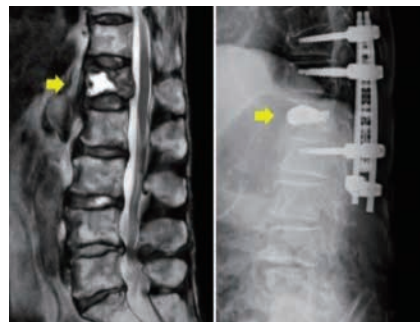
手術治療

骨折椎体の不安定性や後弯変形が強い場合は、2-3週たっても痛みが改善せず離床が進まないこともあります(約36%)。そのような場合に、骨セメントを用いた低侵襲手術を行うことがあります。細い筒を潰れた椎体に刺入し、バルンを膨らまして矯正したのち、できたスペースに骨セメントを流し込む経皮的椎体形成術(BKP)です。術直後から腰痛の改善を認め、立つことも難しかった患者さんが翌日から歩けるようになります。骨セメントの強さに負けて経過中に隣接の椎体が生じてしまうことがあります(約20%)、その際は追加の治療が必要となります。



▲骨セメントを用いた経皮的椎体形成術(BKP)

重症例



脊椎の圧迫骨折後、潰れた椎体が癒合しないと、偽関節(一つの椎体がパカパカ開いたり閉じたりする)となって腰痛が長引きます。さらに潰れた骨が背骨の後ろに飛び出し脊柱管内の脊髄に圧迫が加わると、脊髄麻痺(両下肢が動かなくなる)や膀胱直腸障害(尿や便を自力で出せなくなる)が生じます。この場合は骨セメントを用いた椎体形成術に加え、チタン性の金属を用いた脊椎固定術を行うことが多くなります。

◀下肢麻痺のある重症例に対してはBKPに脊椎固定術を追加する

最後に

骨粗鬆症性脊椎骨折後に適切な保存療法を受けていても潰れが悪化し、数ヶ月経ってから下肢の神経障害が出る場合があります(遅発性神経障害)。受診や診断の遅れで適切な治療のタイミングを逃してしまうことも珍しくありません。骨粗鬆症性脊椎骨折後に足がしびれてきたりふらついてあしに力が入らなくなれば、すぐに整形外科を受診しMRIなどの精査をうけましょう。

骨粗鬆症とフレイルの関係

リハビリテーション科 理学療法士 大園聖美



骨粗鬆症とは

骨の密度や質が低下し、骨がもろくなる病気です。高齢になると転倒などの軽い衝撃でも骨折しやすくなります。大腿骨や背骨の骨折は、寝たきりや要介護状態の引き金になることもあります。

フレイルとは

加齢とともに心身の活力(運動機能や認知機能など)が低下し、健康と要介護の間の虚弱な状態のことです。フレイルには、体重の減少や筋力の低下など身体的な変化だけでなく、気力の低下など精神的な変化や社会的なものも含まれます。健康な状態と要介護状態の中間に位置する段階であり、適切な関わりによって回復が可能です。

◆フレイル基準(改訂版J-CHS)

- 体重減少(6ヶ月間で2kg以上の意図しない減少) □ 疲れやすい(ここ2週間わけもなく疲れたように感じる)
- 筋力低下(握力が男性28kg未満、女性18kg未満) □ 歩行速度の低下(通常歩行速度が秒速1.0m未満)
- 身体活動量の低下(軽い運動や体操、定期的な運動やスポーツをしていない)

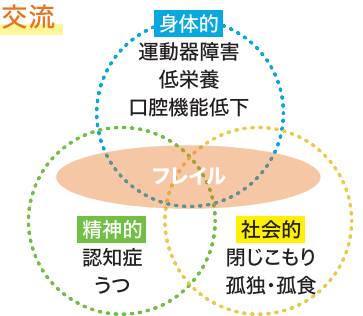
5つの評価項目のうち、3項目以上に該当するとフレイル、1または2項目に該当するとプレフレイル、いずれも該当しないと健常と判断されます。

フレイルを予防するためには

①運動による筋力づくり ②低栄養の予防 ③口腔内と歯の健康 ④外出と交流

少しの運動でも継続して行い、筋力低下を防げば転倒・骨折のリスクも軽減されます。今回は自宅でできる運動をいくつかご紹介します。無理はせず、それぞれの体の状況に合わせた運動を行ってください。

- 座ってできる運動
 - ・椅子に座って足踏み
 - ・つま先と踵を交互に上げ下ろし
 - ・膝伸ばし
- 立ってできる運動
 - ・片足立ち(机などにつかまって支えながら)
 - ・両足で立った状態で踵を上げゆっくり下ろす



骨粗鬆症とフレイルはどのように関係するか

これらは密接に関係しており、互いに悪影響を及ぼすといわれています。骨粗鬆症によって骨がもろくなると、転倒時の骨折リスクが高まります。一方、フレイルでは筋力やバランス能力が低下し、転倒しやすくなります。つまり、フレイルが骨折のリスクを高め、骨粗鬆症が転倒や骨折の結果を深刻にするという悪循環が生まれます。高齢者が増えている現代社会において、フレイルに早く気づき、予防や治療することが大切です。

参考文献

- ▶一般社団法人 日本骨代謝学会(<https://jsbmr.umin.jp/>)
- ▶一般社団法人 日本サルコペニア・フレイル学会(<https://www.jasf.jp/>)
- ▶厚生労働省(https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202111_00001.html)

2025年度着任医師紹介



泌尿器科

部長 能見 勇人

本年7月より泌尿器科に赴任しました。腎泌尿器疾患の診療・手術、透析療法、腎不全外科の全てに注力したいと思っております。特に血液浄化センターをより充実させる方向で努力する所存です。皆さまのお力になれば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。



循環器内科

柴田 兼作

本年4月より循環器内科に赴任しました。今まで大阪医科薬科大学病院にて心臓や下肢血管のカテーテル治療を中心に診療を行ってまいりました。当院でもその経験を生かしながら、地域医療に貢献していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



糖尿病代謝内科

松野 真人

本年4月より大阪医科薬科大学病院から糖尿病代謝内科に赴任しました。糖尿病や生活習慣病の診療を中心に地域医療に貢献していけるように頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。



整形外科

上田 拓司

本年4月より整形外科に赴任しました。高齢者の外傷や疾患を中心に地域の皆さまの健康を幅広くサポートできるよう、日々研鑽を重ねていきます。わかりやすい説明と丁寧な診療を心がけてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室は患者さんやご家族、地域の相談窓口です

1 医療費や生活費などの経済的なこと

2 入院や治療に伴う病気や仕事に関する不安なこと

3 入院・転院・福祉施設入所の相談・調整

4 在宅医療・介護・復職・復学などのこと

5 かかりつけ医についての相談

6 病院に対する要望やご意見など…

私たちは
こんな相談に
応じています。



月曜日～金曜日 9:00～16:50
土曜日 9:00～12:00

キャッチフレーズ

～新しい時代へ、共に育み、チームワークで取り組む、信頼の地域医療～

●発行:大阪医科薬科大学三島南病院 ●編集:大阪医科薬科大学三島南病院 広報委員会

〒569-0856 大阪府高槻市玉川新町8番1号 2025年8月発行

TEL 072-677-1333(代表) FAX 072-677-1340(代表)

HP:<https://www.ompumh.jp/>

